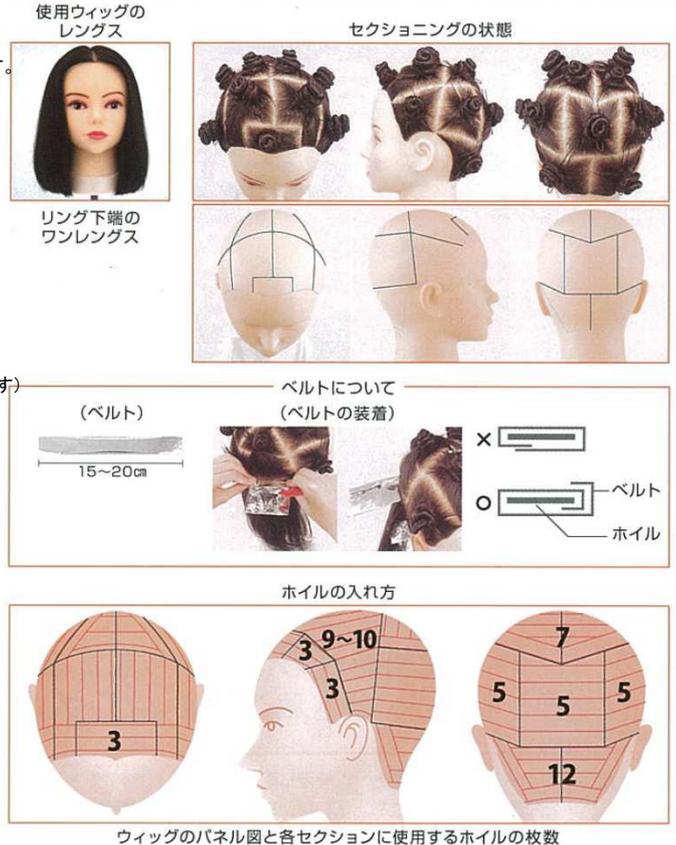


FOILWORK STANDARD CONTEST

競技規定

- ◆1人1台のウィッグにて、ホイルワークを行います。
 - ◆規定時間
 - ・セクション5分間、ホイリング35分間の合計40分のタイムトライアルで競技を行います。
 - ◆セクション
 - ・12セクション。ネジピンをメインで使用し、シングルピンは補助でのみ使用可とします。
 - ・競技のスタート時には、コーム等の道具類に手を触れない状態ではじめます。
 - ◆ホイルパネル数
 - ・フルヘッドで67枚以上使用していただきます。(ベルトも必ず行います)
 - ◆ホイル
 - ・ミルボンカラスベジャリストホイル(ロールタイプ又はシートタイプ)を使用。(片側の5~8cmを折り返し)
 - ◆ベルト
 - ・幅10cm×長さ15~20cm(推奨サイズ)のホイルを4つ折にして使用します。(短いベルトを使用する場合は、パネルに対して1回転以上巻きつけていただきます)
 - ◆使用薬剤
 - ・ミルボンリハーサルクリームを水と1:1で使用します。(トリートメント剤は使用不可とします)
 - ◆ハケ・縦ハケを使用。(ミルボンホイルワークブラシを推奨)
 - ◆ウィッグ
 - ・レジーナ337Sを使用。長さはドライ状態で首の付け根(ウィッグの端)で切りそろえたワンレングス。(バング無し、ソギ不可、レイヤー不可、カラー不可、ウィッグへの目印などの記載は不可とします)
 - ・競技のスタート時は、ウィッグをドライ状態にし、センターパートで分け、正面に向けた状態で行います。
 - ・クランプは机設置型を使用し、スタンド式は不可とし、ワゴンの使用も不可とします。
 - ◆ホイリング
 - ・チップ3mm・ピッチ7mm・チップの深さ3mm
 - ・薬剤塗布は毛先までしっかり行います。毛先がはみ出してしまう場合はハケを活用して、毛先をホイル中間部分で丸め、均一に塗布します。
 - ・35分間のホイリングタイム内に毛先を整え、フェイスラインは髪の毛がウィッグの顔にかからないように、パネルのホイルを折り曲げて仕上げます。
 - ・40分間の競技終了後は、ウィッグに一切触ることはできません。
- ※競技規定は全て、ミルボンホイルワークスタンダードテクニックマニュアルに準じます。
 ※競技中に音の鳴るタイマー等を使用することは控えてください。



ウィッグのパネル図と各セクションに使用するホイルの枚数

- ◆その他
 - シングルピン以外のダッカールの使用は可能です
 - クランプを傾けて施術を行うことは可能です。
 - ウィッグをクランプから抜いて顔の向きをかえて施術することは可能です。
 - セクション5分でタイマーを止め、5~10分後(セクション審査終了次第)、ホイリングをスタートします。
 - タイムアウト時に最後に取っていたスライスのみホイリング可能ですが、**全てのホイルが貼り終わり、フェイスラインの折り返しまで終了していないと大幅減点です。**

ホイルワークの仕上がりイメージ



審査規定

- ①セクション仕上りの審査をします。(5分間で一度手を止めていただき、審査を行います。)
 - ◆タイム内に仕上がっている事
 - ◆セクションが正しい順番に行われている事
 - ◆仕上がったセクションのバランスが良い事
 - ◆毛束がセクション内におさまり、ネジピンをメインで使用してとめており、ネジピンがホイリングの邪魔になっていない事
- ②ホイリング後、ホイルの貼りあがりの状態で審査します。(洗い流しての仕上りの審査はありません。)
 - ◆パネル数が67枚以上である事
 - ◆ベルトが根元から1週以上、しっかりと巻かれている事
 - ◆ホイルがキレイにたたまっている事
 - ◆ベルトの頭皮に沿わせる部分が、切れ端のない山折り側になっている事
 - ◆全体のバランスが良い事
 - ◆チップ3mm・ピッチ7mm・深さ3mmで、▼のかたみに均一に取れている事
 - ◆根元からホイルが貼られている事
 - ◆根元~毛先までの薬剤塗布にムラが無い事
 - ◆カバーリングが出来ている事
 - ◆薬剤がホイルからはみ出していない事
 - ◆ホイルの折りたたみが、両サイドのチップギリギリで折られている事
 - ◆ブリックワークが出来ている事

※競技規定及び審査規定にそぐわない場合は減点の対象とします。